

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市 真田町長 6918 番地 1
評価実施期間：令和元年8月1日から令和2年3月31日 *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) 061243, B18052, B16023	

2 福祉サービス事業者情報(令和2年1月現在)

事業所名：佐久市立高瀬保育園 (施設名)	種別：保育所
代表者氏名：(佐久市長) 榊田 清二 (管理者氏名)(園長) 尾方 順子 (副園長) 青木 杉子	定員(利用人数)：90名(現員83名)
設置主体：佐久市 経営主体：佐久市	開設(指定)年月日： 昭和37年6月1日
所在地：〒385-0016 長野県佐久市鳴瀬1371番地	
電話番号：0267-67-2155	FAX番号：0267-67-2155
ホームページアドレス： www.city.saku.nagano.jp/kenko/kosodate/hoikusisetsu/takase.html 電子メールアドレス： takase-hoiku@city.saku.nagano.jp	
職員数	常勤職員：21名 非常勤職員：2名
専門職員	(専門職の名称) 保育士17名 嘱託医2名
	調理師3名
施設・設備の概要	(居室数)：保育室(6室) 乳児室(1室) ほふく室(1室) (設備等)：遊戯室(1)、トイレ(4) 調理室(1)、事務室(1) 医務室(1)、園庭(1)、
屋外遊具	鉄棒、滑り台、雲梯、シーソー、 総合遊具(滑り台、太鼓登り、登り棒、ろくぼく、チェーンネット)

3 理念・基本方針

【佐久市保育理念】

「子どもの最善の利益を考慮し、健全な心身の発達を図り、生きる力の基礎を培います。」・・・(養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。)

【佐久市保育目標】

- 1, 自然の中で楽しく遊ぶ子ども
- 2, 心身共にたくましい子ども
- 3, 思いやりのある子ども

【高瀬保育園の運営方針】

- ・生き生きと活動する経験を通して、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。
- ・保護者や地域の方たちと連携しながら、子ども一人ひとりを大切に育てる保育園を目指す。

【高瀬保育園の保育方針】

- ・自然や友達との関わりの中で思いやりの気持ちを育てる。
- ・子どものありのままを受容し、一人ひとりの育ちを支える。
- ・保護者や地域との連携を図りながら子育てを支える。

【高瀬保育園の保育目標】

- ・伸び伸び元気に遊ぶ子ども。
- ・あいさつのできる子ども。
- ・やさしい子ども。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

【佐久市の子育て支援・保育・教育の特徴】

○「子育て支援都市」を宣言している佐久市は、市民が安心して、子どもを生き育てることができる都市作りを目指しています。公立保育園では、延長保育、乳児保育、休日保育、一時保育、障がい児保育、病児病後児保育など多様化する保育ニーズに対応した保育支援を行っています。また、子育てに関する交流の場として、子育てサロンやつどいの広場を開設しています。

【地域の特徴】

- 田畑や里山、清流など自然に恵まれた地域です。
- 園庭南に地域の方にお借りした畑で、地域の方と一緒に野菜を育てています。
- 児童館や小学校が隣接していて日常的に交流が図られています。
- 園児の活動に地域住民が応援協力していただいています。

【保育園の特徴】

- 身体を動かして学び、丈夫な体と元気な心を育てたいという願いを持って、毎朝9時から、全園児が園庭で体操やランニング、集団ゲームを楽しみ、交流を深めながら積極的に体を動かし遊んでいます。
- 恵まれた自然や地域環境の中で、園児は伸び伸び活動し、豊かな感性や探求心を培い、畑づくりや調理体験、四季折々の自然や地域の方と触れ合える戸外活動、お寺さんの法話や手品、お手玉、人形劇、サッカー教室など地域のボランティアの皆さんとの交流活動を積極的に保育に取り入れています。
- 昆虫や小さな生き物の飼育を通して、生き物の成長様子を観察して、命の大切さに気づいたり、自然に対する好奇心育てることを大切にしています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初回
---------------	----

6 評価結果総評（利用児調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

①管理者が保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮しています。

○管理者は、長年の保育現場・管理者経験で培われた保育への信念があり、理念や基本方針を具現化した保育の質の向上に向けた取り組みを、全ての職員と一緒に共有したいとの思いにおいて、主任保育士と連携して、保育目標に基づいた保育の質の向上の課題を把握し、職員会議等で課題や改善についての具体的な取り組みを表明し、職員や保護者の意見や提案を反映させ、率先して取り組んでいることが会議録や管理者インタビューで伺うことができました。また、職員インタビューや自己評価結果においても、管理者の指導力を高く評価するコメントが多数ありました。

②保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されています。

○指導計画書や保育課程の編成等には、園児の状況や発達状況に応じた、標準的な実施方法が文書化されて、一定の水準、内容等を実現するために、一人ひとりの園児の個性性を考慮した内容になっていました。また、管理者は、園児や保護者等との関わりにおいて、職員個々の対応の差異をなくし、より適切な関わり方を職員個々が共有するために、日常的に職員と話し合い、事例を収集し、標準的な実施方法について文書化し、職員会議等で職員全員が周知共有できるように努めていました。

○指導計画の定期的見直しに合わせ、職員個々の話しを聞いて、標準的な実施方法の現状分析と見直しが行われ、職員や保護者等からの意見や提案に基づいて、保育の質に関する職員の共通意識を育てることと、PDCA のサイクルによって、質に関する検討が保育所として組織的に行われ、子どもを尊重した保育について、共通の理解をもつための取組に努めていました。保護者アンケート調査結果では、職員により対応に差異があるとのコメントもありましたが、全体的には職員の対応については好ましい評価結果でした。

③食事を楽しむことができるよう工夫をしています。

○給食室の近くに「げんキッズ」の装飾があり、親しみやすく見やすい絵柄で子どもたちに栄養や食に関心が持てるような環境が作られていました。また、栄養士による食育指導や食育だよりが発行され、食事の大切さを分かりやすく紹介しています。

○提供した食事のサンプルを展示し、その日の献立や量を保護者に知らせています。

○残さないで食べられるよう、それぞれの園児に応じた量の盛り付けにしています。また、お代わりは希望でできるようになっています。

○楽しい雰囲気の中、食欲旺盛に食べる姿が見られました。

○食育計画が作成され、調理員も含めた全職員で取り組んでいました。

④子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開しています。

○保育目標にもとづいて、身体を動かして遊び、丈夫な体と元気な心を育てる保育目指して、毎朝ランニングや体操、集団ゲームを楽しみ積極的に体を動かして遊んでいます。

○信州やまほいくの園に認定され自然環境を生かした散歩や地域との関わりを積極的に行っています。また、バードケーキ（鳥の餌）を作って小鳥を呼ぶ活動、10種類以上の野菜作りや調理体験をしています。

○自然物を使った遊び、サッカー教室、散歩時の訪問カード配布など地域の方との交流を積極的に保育に取り入れています。

○”話し合う”姿を大切に見守り、子どもの思いに寄り添えるようにしています。年長児クラスでは担任が折に触れ子どもたちに相談しながら次の行動を決めていく様子が見られ子どもの自発性を尊重する場面が多くみられました。

◇特に改善が必要と思われる点

①利用者満足の上を目的とする仕組みをさらに図っていただくことを期待します。
○クラス担任以外にも管理者や職員全員で、一人ひとりの園児が安全で安心に過ごしていることを確認し、少しでも変化があった場合は、担当保育士や主任保育士、管理者に報告して、適切に対応する仕組みがありました。が、園児本位の保育は、保育所が一方的に判断できるものではなく、園児一人ひとりがどれだけ満足しているかという双方向性の観点が求められます。しかし、園児が自分の意志を十分に伝えられないことも考慮し、保護者の満足度調査を年1回以上実施することが求められています。園児の満足の把握、保護者に対する利用満足に関する調査を定期的を実施して、調査結果を活用して、さらに保育の質の向上や運営の改善に向けた取り組みを組織的に図ることを期待します。

②園舎の老朽化対策と安全な立地環境の整備をお願いいたします。

○災害時の対応体制は、「火災・消化・通報対応マニュアル」として整備されていましたが、園舎のすぐ傍は、深い崖で河川（湯川）が流れていて、崩落の危険地帯に立地しているため、耐震措置や落下防止対策等への意識は高く、想定した避難訓練が実施されていることを防災計画で確認できましたが、保護者アンケート調査結果コメントや職員インタビューでは、崩落や崩壊に関する不安要望が多く寄せられていました。佐久市の中・長期計画にも反映されていると思いますが、早期の改善実現をお願いします。

7 事業評価の結果（詳細）と講評 別紙添付

- ・ 共通評価項目（別添1）
- ・ 内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

- ・ 別紙添付

アンケート方式の場合（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

今回の第三者評価結果を職員間で共有して、しっかりと理解し、今後の保育園の運営や保育の在り方に反映させていきたいと思っております。公立保育園であるため、年度ごとに職員の異動もありますが、良い評価いただいた点については、高瀬保育園の保育方針として、今後継続して積み上げていきたいと思っております。

改善を指摘された点についてですが、「保護者園児の満足度調査を年1回以上実施」ということについては、そのような機会を作るようにしていきたいと思っております。「園舎の老朽化対策と安全な立地環境の整備」については、佐久市子育て支援課と連携しながら、利用者の皆さんに安心していただけるよう取り組みたいです。

これからも、子どもと保護者が安心して利用できる保育園、子どもがそれぞれの権利や自由を保障され、保育士に温かく受容してもらう中で、子どもたちが生き生きと生活できる保育園を目指し、保育の質の向上と環境整備を行っていききたいと思っております。

※公表の同意をした場合は、評価機関に電磁的に作成し電磁的に保存した媒体及び当該媒体を出力した書面（署名及び押印をすること）を提出すること。

※評価機関は、福祉サービス事業者から提出のあった当該書面を県へ提出すること。

佐久市立高瀬保育園

副園長：青木 せ杉子

⑩